

(a)日時及び場所

日時:2018 年 1 月 16 日(火)13:10-14:40

場所:特定非営利活動法人環境市民事務所

(b)理事の総数

13 人(うち定足数 9 人)

(c)出席した理事の氏名(以下、敬称略)

杵本育生、太田航平、下村委津子、松田直子、石崎雄一郎、加藤良太、瀬口亮子、原田紀久子
以上 8 人。

特定非営利活動法人環境市民定款第 40 条第 1 項の規定により表決権を行使した理事は次の通り。

片山雅男、神田浩史、松下和夫

以上 3 人。

同定款第 38 条の規定により定足数(理事総数の2/3)を満たし、開会した。

(d)議長 下村委津子を指名

(e)議事録署名人 杵本育生、石崎雄一郎

(f)議事録作成者 大西康史

以下詳細

(報告事項)

1)2017 年度の主な事業の進捗について

杵本代表理事より、以下のとおり主な事業の進捗状況が報告された。なお、次回の環境首都創造フォーラム開催にあたり、京都府地域力再生プロジェクト等の活用を検討することが、また、ぐりちょ(エシカルな商品の情報サイト)の開発にあたり IT 系の補助金等を調査することが、理事から提案された。

・環境首都創造関係

環境首都創造フォーラムを 11 月 20 日(月)、21 日(火)に開催するとともに、自治体政策評価オリンピック(36 自治体が参加)を実施し 30 の先進事例を選出した。今後の予定としては、1 月 31 日(水)、2 月 1 日(木)にメルパルク京都及びしんらん交流館で公開セミナーを、2019 年 1 月に京都市内で環境首都創造フォーラムを行う予定である。

・持続可能な消費関係

今年度 2 回目のセミナーを 1 月 20 日(土)に鳥取で開催することと、ぐりちょの充実(25 品目の掲載を目指す)、エシカル通信簿の発表(対象:化粧品大手 5 社、コンビニエンスストア大手 4 社、宅配大手 3 社)に向けて、取り組みを進めている。

・その他

京都市環境保全活動推進協会から受託した環境教育リーダースタートアップ講座が完了した。なお、環境教育リーダースタートアップ講座は、来年度も ESD 要素を加えて継続される模様である。また、日本生協連から受託の単位生協の SDGs 取組状況調査票の作成業務を進めている。

■付議事項及び決定内容

1)25 周年記念事業について

杵本代表理事、太田副代表理事、松田副代表理事より、関連資料(記念パーティ 呼びかけ人依頼先、団体・店舗名等一覧、エコ&エシカルフェスティバル出展要項)により3月17日(土)にMumokuteki ホールで、エコ&エシカルフェスティバル(11時~17時)及び記念パーティ(18時~20時半)を開催したい旨の提案があり、全会一致で承認された。

なお、これを受け、出展等の呼びかけを今後行っていくことと、呼びかけ先として追加候補があれば理事より提案いただくことが決定した。

2)次期中期計画(2018-22)について

今後の進め方として、第17回通常社員総会に向けて来月から月1回の頻度で、理事とユース(Around40)メンバーにより議論検討を進めることが、全会一致で承認された。

3)2017年度の財政状況について

杵本代表理事より、2017年度部門別損益予想資料(1月~3月予定数字を含む)により収支見通しが約90万円の赤字となる(計画どおり受託できなかった交野市事業分相当額)との説明があり、これへの対応方針を以下とすることが、全会一致で承認された。

(対応方針)

- ・年度内は、25周年記念事業にあわせて寄付を募る。あわせて、3月下旬から5~6月頃に掛けて、SDGs 関連の研修事業(対象:学校教員、自治体議員等)を行い、事業収益を得る。
- ・運営体制を含めた4月以降の固定費の見直しや、阪急電鉄でのSDGsトレインの実施(企画監修収益の確保を想定)も検討する。また、この間の資金繰りのために、京都地域創造基金の借り換えを行う。

4)第17回通常社員総会の開催日程案について

6月17日(日)を第1候補、6月16日(土)を第2候補として調整を進めることが、全会一致で承認された。

以上